



平成 28 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 日 立 マ ク セ ル 株 式 会 社  
代 表 者 名 取 締 役 社 長 千 歳 喜 弘  
(コード番号：6810 東証第一部)  
問 合 せ 先 業 務 管 理 本 部 広 報 ・ ブ ラ ン ド 戦 略 部  
(TEL. 03-5715-7061)

## 平成 28 年 3 月 期 の 個 別 業 績 実 績 と 前 期 個 別 業 績 実 績 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成 28 年 3 月 期 の 個 別 業 績 実 績 に つ き ま し て 前 事 業 年 度 の 実 績 値 と 比 較 し て 差 異 が 生 じ る こ と か ら、下 記 の と お り お 知 ら せ し ま す。

### 記

#### 1. 平成28年3月期個別業績実績値と前事業年度実績値との差異

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成 27 年 3 月 期 実 績 (A)	111,102	3,178	3,883	7,689	145.51
平成 28 年 3 月 期 実 績 (B)	113,314	3,679	3,727	2,578	48.78
増減額 (C) = (B) - (A)	2,212	501	△ 156	△ 5,111	
増減率 (%) (C) / (A)	2.0	15.8	△ 4.0	△ 66.5	

#### 2. 個別業績実績値と前事業年度実績値に差異が生じた理由

売上高は、自動車市場向けの電池および光学部品などが順調に拡大したことから前期比2.0% (2,212百万円) 増の113,314百万円となりました。営業利益は、成長分野製品の増収効果および原価低減などに努めた結果、前期比15.8% (501百万円) 増の3,679百万円となりました。経常利益は為替変動の影響などから前期比4.0% (156百万円) 減の3,727百万円となりました。当期純利益は前期においては固定資産売却益11,101百万円などを特別利益として計上しましたが、当期においては前期のような特別利益が発生しなかったため、前期比66.5% (5,111百万円) 減の2,578百万円となりました。

以 上